

我が住処の夢

桜が丘中央の未利用地について

残暑 お見舞い申し上げます。突然の相談事で恐縮ですが ご一読の上ご理解とご協力をお願いいたします。

団地の真ん中に見苦しい街並み（住民はゴーストタウンという）と雑草の空地が放置されていますが、業者の思うまま宅地化されなかったのが不幸中の幸いです。

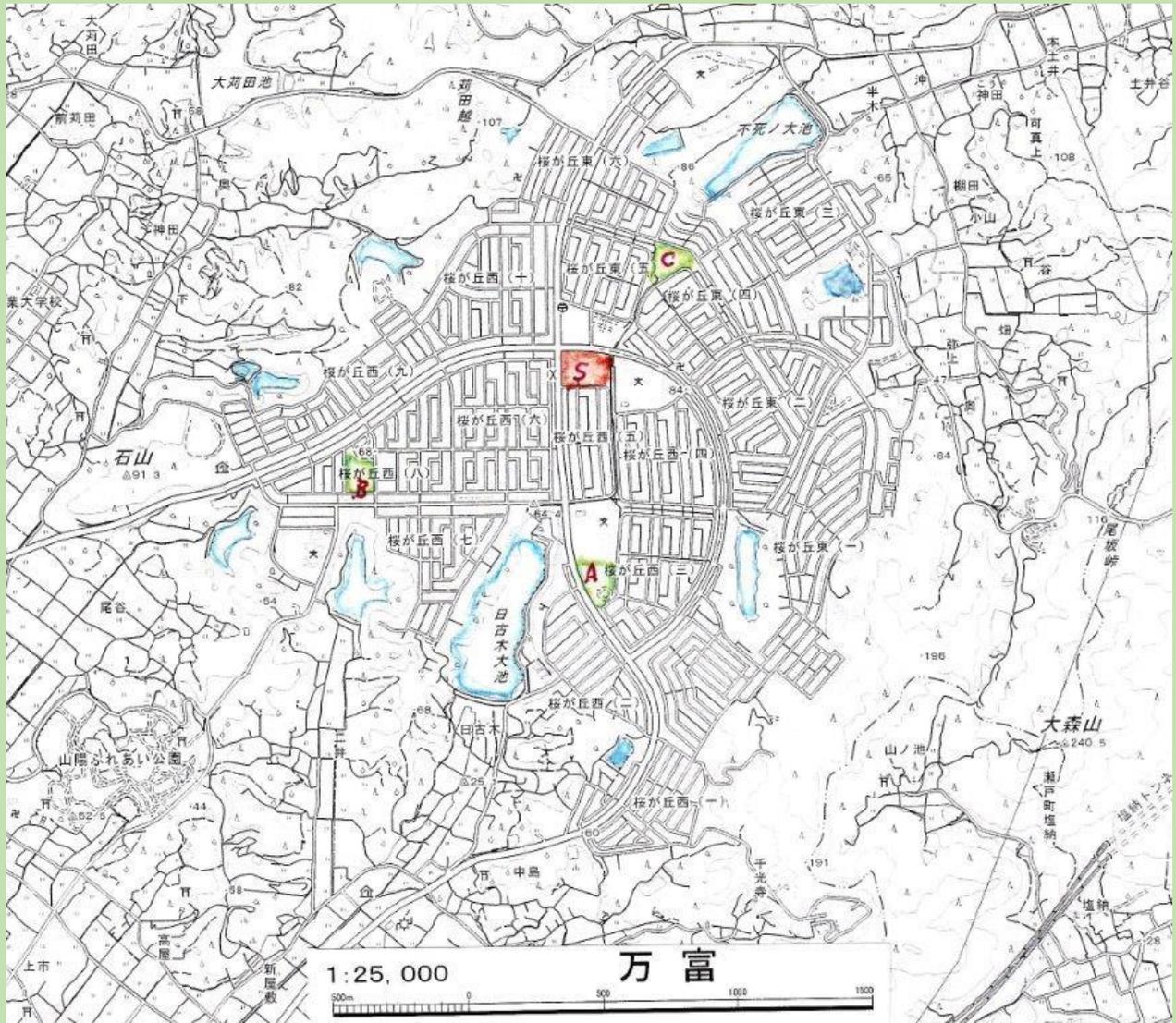
市役所の**地域整備推進室**を訪問し 該当地について現状を尋ねたところ、白紙であることと住民側からの提案に応じることがわかりました。桜が丘に残されたこの一等地を有効利用するために多くの方々と話しあって悔いのない方向づけができればと思っており、次にその主旨を述べます。



該当地の評価と利用目的： 次ページの地図に3つの近隣公園と 該当地（Sとする）及

び11の池を着色して示しますが、SとA、B、Cの近隣公園の広さと位置関係の概略がわ

かっただけだと思います。Sの広さはほぼ6千坪でA、B、Cと比べて見劣りしません。何より団地の中心位置であることと、スーパーとコンビニがあり、交流センターに多くの住民が出入りする立地は住民憩いの場として利用するのに申し分ありません。



桜が丘の緑地と景観： 3ヶ所の近隣公園（西3丁目A、西8丁目B、東4丁目C）があり、何れもグラウンドが樹木で囲まれています。緑豊かとは言えません。また、団地周囲にある大小11の池周りの多くが保健保安林に指定されて樹木が生い茂っていますが、大半が放置され近づくこともできません。中島口からの団地入口に並ぶイチョウがよい景観

を作っていますが、他の街路樹プラタナス・クロガネモチ（あくら）・カイズカイブキなどの多くが貧相な現状です。（以下、街路樹の論議は対象外とします）

緑化のミッション： 温暖化による異常気象は地球規模の原因（熱帯雨林を剥ぐ、永久凍土の融解、森林火災など）にあることは言うまでもありませんが、都会のコンクリートジャングルと自動車交通の発達によるところが大きく、当団地も 60 年前は山林であったことを考えれば無関係ではありません。

岩波ブックレット「街路樹は問いかける－温暖化に負けない〈緑〉のインフラ」（藤井英二郎編）が 市街地に“緑の日傘を”と説いていますが、人口密度が高い団地の課題でもあります。

SDGs :目標 11 で 〈住み続けられるまちづくりを〉

目標 13 で 〈気候変動に具体的な対策を〉

目標 15 〈陸の豊かさを守ろう〉で生態系と生物多様性の維持保全を掲げています。

提案の動機： 12 年前の夏 中欧の街を訪ね歩いたときに、ひときわ印象に残ったのがパリで出会った右写真の緑陰です。（シャンゼリゼに沿う緑道の一部） 騒々しい車道の傍で緑と水がもたらす憩いの場でした。

岡山市の西川緑道、近くは山陽団地中通りや弥生公園が緑豊かで気に入りますが、桜が丘に緑地と言える所がありません。狭くても野鳥や昆虫が来る



“憩いの森”は夢でしょうか。桜が丘中央の空地を緑地にするチャンスは今しかありません。

公民館や音楽ホールについてのご意見もあろうかと思いますが、併せて承りたいと思います。

相談の工程（仮案）： お返事いただいた方々と相談して9月初めに1回目の会合をと考えています。そのため これを受け取られましたら8月末までに、電話かFAX、メールなどで下記あて何らかのご連絡をお願いします。この度は 突然一方的に無理を申しませんがご容赦ください。

2022年8月20日

中西 卓 桜が丘西 8-25-8

TEL / FAX : 086-608-1321

E mail: naktak@sky.megaegg.ne.jp